

元気に挨拶 笑顔で挑戦 夢が広がる大北小

大北だより

11月特別支援教育号
令和3年11月15日
練馬区立大泉北小学校
校長 松井 貴子

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>

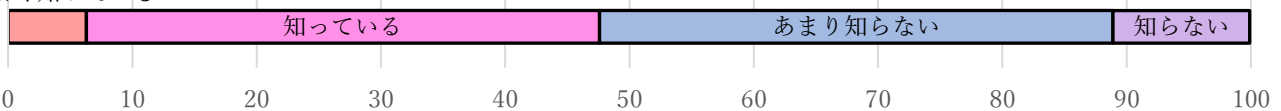
令和3年度 特別支援教育の取り組みについて

秋も深まり、紅葉が一段と色を増す季節となりました。大泉北小の特別支援教育の実践の一つ、特別支援教室「あおぞらルーム」が発行しているあおぞらだよりは、ご覧いただけていますか。先月号のあおぞらだよりや学校配信メールで配信したあおぞらだよりアンケートに、457家庭中143件の回答をいただくことができました。ご協力していただきありがとうございます。貴重なご感想もたくさんいただくことができ、今後のあおぞらだよりの参考にさせていただきます。以下がアンケート結果になっています。

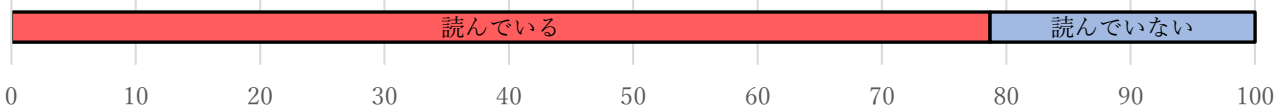
<あおぞらだよりアンケート結果>

あおぞらルームがどんなところか知っていますか。

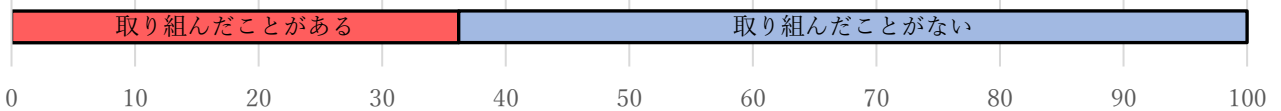
よく知っている



今年度から毎月配布している あおぞらだよりをご覧になったことはありますか。



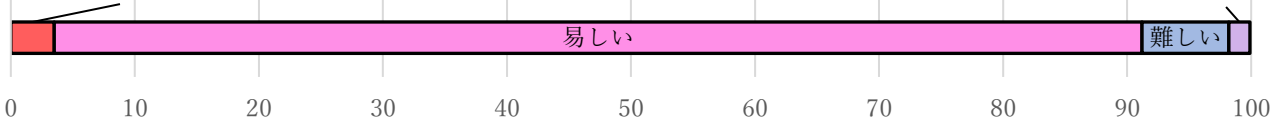
あおぞらだよりの5月号のミニワークは、お子様と取り組んだことはありますか。



あおぞらだよりのミニワークの内容はいかがでしたか。

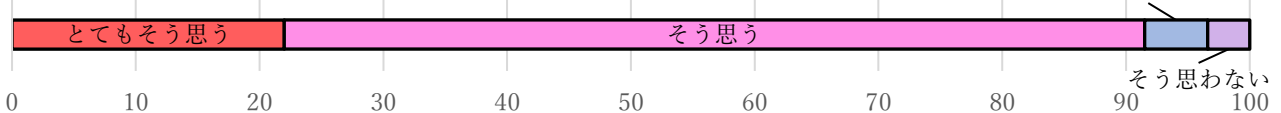
とても易しい

とても難しい



あおぞらだよりのミニワークを楽しく取り組んでいますか。

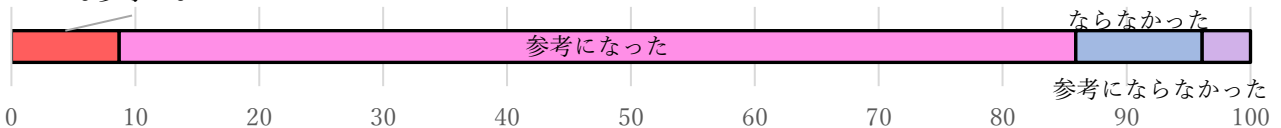
あまりそう思わない



7.8.9月号に掲載した子どもの“ものの見え方”について参考になりましたか。

とても参考になった

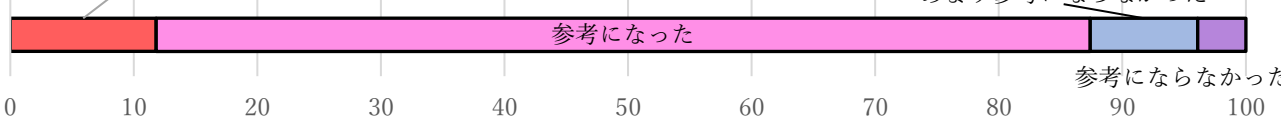
あまり参考に



5.6.7月号に掲載した子どもの“気持ちのコントロール”について参考になりましたか。

とても参考になった

あまり参考に



自由記述欄にも、様々なご意見をいただきました。いくつかご紹介します。

- ・ゲーム感覚で取り組めるワークがついていて、子供と楽しく会話をしながら読んでいます。
- ・怒りのコントロール方法を自宅の壁に貼っていると、他校の保護者が「ためになる事や興味深い話題を取り上げていて良い。」と言っていた。
- ・子供の気持ちに向き合うきっかけになる。
- ・客観的に子供を見るということ思い出すきっかけになった。
- ・紙を破るという怒りのコントロール方法を実際にやってみたとき、他の子から指摘を受けたことがあった。あおぞらだよりを通じて理解が広まることを期待している。
- ・子供だけでなく、大人も参考になった。
- ・10月号の内容から子供のタイプを知り、声かけの方法を考えるきっかけになった。
- ・子供から「ミニワークがついてるよ!」と配布物をもらっている。
- ・特に高学年の各教室に向けて、授業で気持ちのコントロールの仕方など教えて欲しい。 等

以上のように、様々な意見をいただきました。その中に「客観的に子供を見る」というフレーズがあります。これは子供と接する中でとても重要なことです。どの子供にも得意・不得意はあります。一人一人の程度の違いがありながらも、不得意な部分を得意なもので補いながら、困り感を良い方向に向かっていける方法を取り入れる、それが特別支援です。

特別支援は、特別な配慮ではなく、どの子供も得する方法が多くあります。集団の中で配慮することによって、すぐわかりやすく自信をもって取り組むことができる子供、でもその配慮でみんながわかりやすくなっています。様々な個性や違いにかかわらず、誰もが過ごしやすい、そんなユニバーサルデザインの考え方で、あおぞらだよりは「みんながちょっと得する情報」を発信するよう心掛けています。

これまでのあおぞらだよりでは、気持ちやビジョントレーニングについて掲載してきました。今回のアンケートのご感想から、自己分析を促したり、ご家庭でも取り組める教材を紹介したりすることも取り入れていこうと考えています。また、その他にもソーシャルスキルトレーニング（コミュニケーションの方法を学ぶこと）など、あおぞらルームで学習していることも併せて、皆様にご紹介していきます。子供の感じ方や、ご家庭での関わり方などの、参考になれば幸いです。

特別支援教室 あおぞらルーム

今回のアンケート結果から、回答数の約 8 割の方にあおぞらだよりを読んでいただいていることがわかります。しかし、あおぞらルームについての理解度は 5 割ほどのため、今一度あおぞらルームの指導内容の一部を簡単にご紹介させていただきます。

- ・体を動かすことによって気持ちを落ち着けて、自分の行動を調整する → トランポリン
- ・体幹を鍛えたり、バランスをとったりして、姿勢を保てるようにする → バランスボール
- ・自分の行動を振り返り、友達との心地よい関わり方を知る → ソーシャルスキルトレーニング
- ・話を静かに聞く。話の大事な部分を覚えておく → 聞き取りワークシート
- ・板書をノートの正しい位置に写せるようにする → マスコピー

大泉北小学校 3 階渡り廊下の奥にある小さな教室で、週に 1、2 時間の個別や小集団で以上のような指導を行い、在籍学級での子供の困り感の改善を目指しています。

